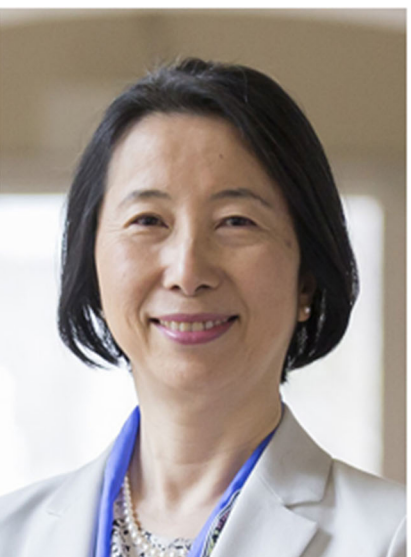


高橋 裕子  
たかはし ゆうこ



津田塾大学学長

國枝マリ前学長の退任に伴い、2016年4月1日付で就任。

新学長は津田塾大学学芸部英文学科を卒業後、カンザス大学大学院教育学研究科博士課程にて学位を取得した。桜美林大学の専任講師、助教授を経て、1997年に津田塾大学学芸部英文学科に着任。2004年に教授となり、現在に至る。

学内においては、学長補佐、津田梅子資料室長などの要職を歴任。学外では、アメリカ学会常務理事、ジェ

ンダー史学会副代表理事など、多数の役職を務めている。

専門はジェンダー史、教育史、家族史と多岐にわたるが、とりわけ津田塾大学の創立者津田梅子の研究に造詣が深く、その集大成である『津田梅子の社会史』は高く評価され、アメリカ学会より清水博賞を受賞した。

女性の高等教育に深い知見をもつ新学長は、日本の女子大学のあり方について二つのことを重視する。良き伝統と新しい未来との発展的接合、および世界の躍進する女子大学の動向を踏まえたグローバルな視点に立つこと。学生には、「大学で学んだアカデミックな基礎力や課題解決力」により「新しい道を切り拓いてほしい」と熱く語る。他者の多様な意見に耳を傾けながらも、つねに大局的な視点を見失わず、一つの実効性ある方向を見いだすために最善を尽くす新学長は、国際性豊かな「21世紀のリーダー」だ。